

令和7年2月定例会会議録

大崎町教育委員会

○日 時 令和7年2月26日(水)
15時30分から17時00分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	穂園 正幸
教育長職務代理者	溝口 信男
教育委員	二見 いすず
教育委員	小野 まゆみ
教育委員	吉田 博文

○関係者

管理課長	相星 永悟
社会教育課長	宮本 修一
管理課庶務係長	中野 伸一

○議事日程

1 開会

2 前回会議録の承認

3 委員の報告

4 教育長行政報告

5 報告

報告第 45 号 就学させる学校の指定の変更について

報告第 46 号 区域外の就学について

6 議事

議案第 12 号 大崎町教育委員会の行政組織等に関する規則の一部を
改正する規則の制定について

議案第 13 号 大崎町指定学校変更事務取扱規程の一部を改正する
規程の制定について

7 委員から提出された動議の討論等

8 その他

9 翌月の行事等

10 閉会

○会議要旨

1	開会
教育長	ただいまから、2月定例会を始めます。
2	前回会議録の承認
教育長	異議なく承認

3	委員の報告
溝口委員	<p>1月31日、大崎中学校と大崎小学校訪問して、児童生徒の皆さんから教育振興基本計画策定にあたっての意見収集の発表会が実施されましたので、列席させていただきました。</p> <p>当日の小中学校の発表会の様子は、教育長先生が教育長だより No80 にまとめていただいておりますので、一部省略させていただきます。</p> <p>中学校の生徒会メンバー15人が4班に分かれて、同じテーマについて自分の考えをまとめて記録した後、グループごとに意見を述べ合い、集約して発表する形式でしたが、生徒さん全員が積極的に意見を述べ合い、迅速な意見集約が適宜行えるなど、素晴らしい風景を見ることができました。さすがに生徒会役員の皆さんだなという風に感心しました。</p> <p>次に、大崎小学校でも、6年生10名が躊躇することなく自分の考えを立派に発表していました。</p> <p>小中学生とも話し合い授業や対話型授業の経験が活かされているなどというの強く感じたところです。</p> <p>2点目に、2月15日に開催されました大崎町PTA教育講演会の子どものネットリスク教育研究会副代表戸高成人氏の講話を聴講しました。</p> <p>これにつきましても、教育長先生の教育長だより NO.81 に、わかりやすくまとめていただいておりますので、それ以上はないのですが、スマートフォンの使いすぎで、学力だけでなく、身体測定分析調査で、年々子供たちの座高が長く、足の長さが短くなっていることや、目の視力に左右差がある子供が増えているとのことでした。</p> <p>ネット依存の恐ろしさを改めて考えさせられました。</p> <p>睡眠は健康な脳の発達に大きな役割を果たしているとのこと、睡眠時間をしっかり確保するためにはどのような心がけが必要なのかなどのGIGAスクール構想の中、大変役に立つような講演会だったと思います。</p> <p>次に、2月22日土曜日に「令和6年度大崎町子ども会大会」に案内状をもらっていただきましたので、出席させていただきました。</p> <p>当日は、児童生徒の皆さんが大会準備から受付、大会進行など全般を主体的に担って初々しさを感じる子ども会大会でした。</p> <p>感謝状贈呈や体験活動の発表会では、中沖子ども会、船迫子</p>

ども会、持留分館子ども会の3団体に感謝状が寄付されました。

活動発表会で、中沖子ども会は、夏祭り、盆踊り、クリスマス会、親子ドッチボールの実施、そして船迫子ども会は崎園子ども会と灯ろうつくりの体験、夏祭り、そしてゴミ拾いや公民館清掃活動、そして鹿屋リナシティでプラネタリウム鑑賞、ディンプルアート体験活動など、持留分館子ども会は、清掃奉仕活動、親子朗読会、夏祭り、親子ウォークラリー、親子飴づくり体験、そして地域の方とカーリング交流とかさくらさくら祭り参加、県の緑の少年団活動発表をしたこと、そして鹿屋農業高校見学など、それぞれの子ども会は、親子体験協働活動、そして自然体験活動などの発表と合わせて、今後の課題や反省点も述べられて、素晴らしい発表会でした。

次に、海外派遣研修生の報告がありました。研修生2人の報告を予定されておりましたが、当日は都合により志布志高校2年生の今福亮太さん1人の報告となり、シアトルで過ごした時の写真を基に報告がなされました。

報告に対する質問コーナーがありまして、海外研修して自分が何か変わったところがありますか？、海外研修中寂しくなかったか？とか、ホストファミリーとのコミュニケーションをどのように取れたか？とか、カルチャーショックはなかったか？その他多くの質問が出されておりました。

今福さんからは、これまで学校などで質問もできない状態だったけれども、海外研修を体験、経験してからはコミュニケーション能力がついて、質問や発表ができるようになったとか、ホストファミリーとは、思いついた単語を連呼して身振り手振りで伝えたとか、海外研修中の寂しさはなく、楽しくて永住したいほどだったと答えておりました。

児童生徒の皆さんは、海外派遣研修に興味津々な雰囲気を感じられて、有意義な報告会になったなど思うことでした。

次に、英語での発表がありましたけれども、鹿児島県内の南日本新聞社主催の南日本中学生英語弁論大会本審査で優秀賞を受賞された大崎中学校3年生の中村愛美さんが「勉強する理由」というテーマを英語で堂々と長文を発表されて、とても素晴らしいでした。その後、質問コーナーがありまして、大会にどうして出ようと思ったのか、どうしたら英語がうまく話せるようになれるのかなど、小学生からも多数質問があり、中村さんからは、弁論大会参加は英語塾の先生の勧めがきっかけだったということ、そして、英語スピーチが上手になるために、メ

<p>二見委員</p>	<p>ディアで外国人を真似て一生懸命繰り返し練習したこと、そして、外国の多くの人と英語の関わりが楽しいなど、中村さんから英語の魅力強く感じる話があり、素晴らしい限りでした。</p> <p>昨日 25 日開催の大崎町教育振興実践発表会に列席させていただきましたが、各小学校の特色ある実践発表は、学校活動成果を共有することで、実践の和を深めて、学校や地域の活動活性化、そしてモチベーションの向上に意義のある発表会だったと思います。</p> <p>また、各校の活動実態を町民の方や関係者に広く知ってもらい、理解してもらうことに意義のある発表会であったなという風に感じました。</p> <p>私も昨日行われました教育振興実践発表会に参加させていただいて、各学校の校長先生、教頭先生の発表が大変興味深く、学校訪問で伺った時はちょっと、学校経営とかお話しはもちろんですけれども、その時はちょっと硬いのですが、昨日はとて皆さんこう発表してらっしゃる先生方も楽しそうで、非常に楽しみながら見せていただきました。</p> <p>その中で印象に残ったのが、持留小学校の松寄校長先生が、「ここに来てとても私は幸せです。」と。もう何回もお聞きしてるんですが、大崎町の学校に来ていただいて、子供たちをこう、特色を活かしてくださって、いろんな賞をもらったりして、子供たちのその自己肯定感を高めていらっしゃる様子がよくわかって、本当に子供たちも幸せだろうなという風に思いました。</p> <p>それから、もう 1 つ印象深かったのが、野方小学校の草野校長先生のお話で、地域は学校のため、学校は地域のためという、いい関係ができているんだなというような活動をたくさん紹介していただきました。</p> <p>それから大崎中学校の吉留校長先生はちょっと時間がなくて大変お気の毒な感じだったんですけども、それでも伝えたいという思いがもう前面に出ていて、昔あった郷中教育と言いますか、異年齢で色々勉強したり活動したりするっていうのは、改めて子供たちにとってはいいことなんだなということを感じたところです。以上です。</p>
<p>小野委員</p>	<p>はい、18 日の県下一周駅伝を会社の前から応援したんですけども、相互信用金庫の前とか、郵便局の前とか、子供たちが沿道にたくさん出て、大きな声が会社の前まで聞こえてきてい</p>

<p>吉田委員</p>	<p>て、選手の皆さんにとっても活力になったんじゃないかなと感じました。</p> <p>22日には、町の子ども会大会に参加させていただきました。</p> <p>1番心に残ったのが、英語の弁論発表がやっぱり心に残りました。中村さんの流暢な、イントネーションとか、すごく発声が綺麗な英語を使ってらっしゃるなどというのを感じました。</p> <p>その後、中村さんとお話をしたりしたんですけども、校長先生もおっしゃってたんですけど、この子は母子家庭で、今度高校に入りますけれども、県でも返済しなくてもいい奨学金をいただいて、すごく頭もいい子ですという話を聞きまして、努力をする子なんだなっていうのをつくづく感じました。</p> <p>この子が地元に残っているいろんなことを、また帰ってきてくれたら、すごく大崎町としても助かるんじゃないかなっていうのを感じたところでした。</p> <p>親御さんもすごくしっかりしてらっしゃって、お話を聞いても、ぜひ、この海外派遣研修に町の援助がありますから、行かせていただいたらいいんじゃないですかねっていう話で、もう本当にそういうのは考えていますっていう話をされていました。</p> <p>昨日、教育実践発表会に参加させていただきました。</p> <p>各学校の取り組みが色々特色がある活動だったんですけども、大丸小学校のやっぱり横瀬海岸を中心とした教育活動というのが心に残りました。</p> <p>ウミガメ保護を通した環境とか、海に近いということで、津波に対する対策、走りきるということをしっかりと子供たちに教えていらっしゃるのが心に残りました。</p> <p>これからも津波ということを考えていかなければいけないのかなっていうことで、1.4キロ全員が走りきるって、10分ぐらいで走りきるっていうのは相当なことだなと思ったところでした。以上です。</p> <p>23日日曜日にですね、野方公民分館主催の野方の未来という会合に声をかけていただきましたので、参加してまいりました。</p> <p>普段、この定例会の資料でも名前をお見かけするようなですね、いろんな立場の方が約40名、3連休の中日でしたけど集まりまして、地域をどうするのか、また少しでもこう野方、大崎の子供たちがゆくゆくまた大崎あるいは野方に残っていくために何ができるのか、そのためにどういった取り組みが必要かと</p>
-------------	--

	<p>いうのをですね、8グループに分かれまして、2時間弱でしたけど、グループで討議したところです。</p> <p>お忙しい中、教育長と町議の2名の先生方も来ていただきまして、最後アドバイスもいただきました。</p> <p>参加者の方たちはですね、やはりこういった地域の未来を語る会を、今回初めてだったんだけど、ぜひ毎年でも開いてほしいと、そういった形で、本当に志ある方たちが集まったの2時間だったのかなと思います。</p> <p>また声かけていただきましたらですね、ぜひ参加したいと思ったところでした。以上です。</p> <p>、</p>
4	教育長行政報告
教育長	<p>※資料に基づき報告</p> <p>3日 校長面談</p> <p>5日 SDGs 発表会, 校長面談</p> <p>8日 津波防災訓練, 防災講演会</p> <p>9日 県レク協, 県総合体育センター50周年記念式典</p> <p>12日 教頭面談</p> <p>13日 教育振興基本計画策定委員会 町教頭研修会</p> <p>14日 兵庫教育大学コンソーシアム報告会</p> <p>15日 町PTA教育講演会 県下一周駅伝 (~19日)</p> <p>17日 大崎いきいきクラブ講話</p> <p>18日 県下一周駅伝・大崎通過 曾於チーム激励 (鹿屋)</p> <p>19日 町校長研修会</p> <p>21日 県下一周駅伝解団式</p> <p>22日 町子ども会大会</p> <p>23日 2025JAGO 野方を語ろう会</p> <p>25日 教育実践発表会 公民分館長会</p> <p>26日 教育委員会定例会 部活動移行検討委員会</p> <p>27日 図書館協議会 地域学校協働本部推進委員会 スポーツ推進審議会</p> <p>2月の主な行政報告は以上です。</p>
5	報告
管理課長	<p>報告第45号 就学させる学校の指定の変更について</p> <p>報告第46号 区域外の就学について</p>

6	議事
管理課長	議案第 12 号 大崎町教育委員会の行政組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 13 号 大崎町指定学校変更事務取扱規程の一部を改正する規程の制定についてなし
7	委員から提出された動議の討論等
教育長	発言がないので動議はないものとします。
8	その他
	特になし。
9	翌月の行事等
管理課長	3月1日から3月31日までの行事を資料に基づき報告
10	閉会
教育長	以上で、2月定例会を終了いたします。
	以上